

# 組織体制の見直し等の 「大綱方針(案)」

～Charter POLICY Beyond' 10～

## 背景 ～社会情勢の変化・ニーズの多様化～

### 社会情勢の変化

- 都市部への集中化等、地域情勢の変化
- 24時間型・大規模店舗の出店
- 更なる高速交通網の整備 etc

### 治安情勢等の変化

- 「裁判員裁判」の対応等、捜査環境の変化
- 「取調べの可視化」等、司法制度の変化
- DV・ストーカー事案等、県民ニーズの変化

### 警察組織体制等の変化

- 老朽施設の増加
- 女性警察官の増員等、勤務環境の変化 etc

## 課題 ～県警察が抱える諸課題～

～24時間体制の確保⇔ 相反する課題  
事案・災害発生時、大量の捜査員の投入～

### 小規模署等が抱える課題

- 休日・夜間態勢の脆弱性
- 現場執行力の強化
- 不在となる交番等への対応

### 運転免許行政に関する要望の高まり

- 多様な県民のニーズへの対応

### 老朽する警察施設への対応

- 「徳島県国土強靱化地域計画」への対応

県警察では、治安・社会情勢の変化や「西部4署の統合」の成果、また「徳島東署庁舎」の移転・整備を踏まえ、更なる治安対策や行政サービスの向上等を内容とする「大綱方針」の策定作業を進めています。

## 「大綱方針(案)」の概要

～未来の徳島県警察を見据えた中期計画“Beyond'10”～

### 警察署の更なる再編整備

#### Concept

- 警察署の更なる**統合**及び**管轄区域**の見直し
  - 小規模署等、警察署の更なる統合
  - 「徳島東警察署」新庁舎移転を踏まえた管轄区域の見直し
- 更なる**組織体制**の見直し
  - パトカー等による機動力の強化
  - 負担の大きい「交通捜査」「検視係」等の体制の強化等
- 職員の**配置基準**の見直し
  - 第一線警察署の体制強化
  - 警察署における女性警察官の体制強化

### 交番・駐在所等の施設整備の在り方

#### Concept

- 地域情勢を踏まえた駐在所等の在り方の検討
  - 民間資金を活用した整備手法や「リフォーム」の検討
  - 「テナント」「派遣型」等、新たな地域警察活動への取組み
- 老朽施設に対する対応  
～老朽する警察施設の集約化と整備～
  - 老朽宿舎の集約化と整備方針を盛り込んだ「第2期宿舎整備計画」の策定
  - 民間資金を活用した職員宿舎の整備

### 更なる行政サービスの向上

#### Concept

- 県民のニーズを踏まえた対応
  - 「警察署窓口アンケート」及び「徳島県eモニターアンケート」の結果  
～多くの県民は「より近い場所」で「即日交付」を要望～
- 免許サブセンターの整備に向けた検討
  - 県西部・南部に「即日交付」が可能となる免許サブセンターの整備
- 免許関係委託業務等の見直し
  - 多様なニーズに対応するため運転免許関係の委託業務等の在り方を見直し

# 警察署の更なる再編整備

~Even More Reorganization POLICE STATION~

## 背景 ~ 西部4警察署統合の成果 ~

### 統合の必要性 ~ 小規模署等が抱える課題 ~

- 夜間・休日の体制が脆弱
- 広域・スピード化や多様化等への対応が困難
- 交番・駐在所勤務員の本署勤務の常態化 etc

## 西部4署の統合の成果

### 現場対応能力の向上

- 事件・事故発生時における捜査員の集中運用
- パトカー等による機動力の強化
- 交番・駐在所警察官の活動の強化 etc

### 各種事件・事故の減少(対前年比)

	刑法犯認知件数	交通事故発生件数
阿波吉野川	-28.3%	-9.6%
美馬	-27.2%	-28.1%

### 捜査員の集中的運用による

#### 重要事件の早期検挙

- 連続窃盗事件 居直り強盗事件
- 連続放火事件 大麻取締法違反事件
- 窃盗未遂、暴行事件 ひき逃げ事件 etc

徳島市及び隣接地域の治安状況(H26年)



## 警察署統合のイメージ ~ 美馬警察署の例 ~

### Concept

旧・美馬警察署

署員数 43人  
警察官 37人(内幹部6人)  
当直員 3人  
(責任者1、捜査1、交通1)  
パトカー 1台2名



旧・つるぎ警察署

署員数 37人  
警察官 32人(内幹部6人)  
当直員 3人  
(責任者1、捜査1、交通1)  
パトカー 1台2名



統合

~夜間・休日の初動対応等が大幅に強化~

新・美馬警察署

署員数 80人  
警察官 71人(内幹部8人)  
当直員 6人  
(責任者2、捜査2、交通2)  
パトカー 2台4名



**統合前**

**<Case1> 重要事件発生時**  
 事案発生直後に投入可能な人員が脆弱

**<Case2> 複数事案発生時**  
 複数の事案が同時に発生した場合：1名での臨場を余儀なくされる

**<Case3> 女性が被害者又は加害者等となる事案**  
 女性が被害者又は加害者となる：統合の効果により、当直体制に事案の場合、事情聴取や身体検査等を行うため、女性警察官が必要となる

**統合後**

事案発生直後に大量投入が可能 → 早期解決

複数の事案が同時に発生した場合：でも複数名での臨場が可能

統合の効果により、当直体制に事案の場合、事情聴取や身体検査等を行うため、女性警察官が必要となる

夜間・休日の呼び出しが減少するほか、地域警察官の転用勤務の抑制⇒パトロール時間の増加などの効果  
ワークライフバランスの実現

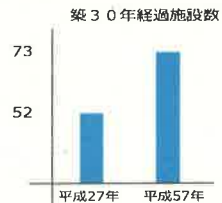
# 交番・駐在所等の施設整備の在り方

～Next Institution Model～

## 現状

### 施設の老朽化

○133棟ある交番・駐在所等のうち築30年以上経過した施設は51棟



神山町広野駐在所 (S48建築)

交番・駐在所の整備は、年間1～2箇所程度

～高度成長期と同様の施設整備は困難～

## 課題

### 犯罪・社会情勢への対応

- 犯罪のスピード化、広域化への対応
- 都市化、人口減少への対応
- 県民のニーズに応じた警察機能

### 徳島県国土強靱化計画・徳島県公共施設総合管理計画

- 資金の効率的活用
- 既存ストックの有効活用
- 民間資金の活用
- 効率的・効果的な維持管理 (対処保全型から予防保全型へ)

施設の  
長寿命化へ

県民に最も身近な警察活動拠点である「交番・駐在所等」の老朽化も重要な課題であり、「地域情勢等を踏まえた駐在所等の在り方の検討」を進めるとともに、民間資金の活用など新たな手法による施設の整備に取り組みます。また、老朽化が進んでいる宿舎についても「第2期宿舎整備計画」を策定して、集約化と整備を進めます。

岡山イオンモール警察官立寄所

### 駐在所等の在り方の検討

Concept

- 新たな地域警察活動への取組
  - 都市部における交番機能強化
  - 道路交通網の発達への対応
  - 地域事情、住民のニーズに即した駐在機能の検討
- 女性警察官の職域拡大に向けた取組
  - 「通い型駐在所」・「移動駐在所」等の検討
  - 交番における「女性用トイレ・仮眠室」等、女性警察官が働きやすい職場環境の整備

### 老朽施設に対する対応

Concept

- 民間資金を活用した整備手法の検討
  - PFI手法による駐在所の一括整備
  - 計画的な維持管理
- 「テナント」・「派遣型」交番等の検討
  - 空き店舗・空き家の活用
  - 自治体との連携
  - 財政負担の軽減
- 「リフォーム」による施設の長寿命化
  - 既存施設の活用による老朽施設の早期解消

### 職員宿舎の集約化と整備

Concept

- 「第1期計画」の概要
  - 県央部における老朽施設の廃止・集約化
  - 民間資金を活用したPFI的手法による整備
- 新たな課題
  - 残存する不要遊休財産の処分

### 徳島市城東町・アルコバレーノしらさぎ

◀ PFI的手法により  
13棟166戸を廃止・集約化し、  
4棟90戸を整備

### 「第2期宿舎整備計画」の策定

課題

- ・老朽化施設の増加
- ・県南部における宿舎不足
- ・職員家庭環境の変化

整備方針

- ・部局間連携 (県、警察で情報共有)
- ・既存ストック (土地) の有効活用
- ・民間活力を活用 (PFI的)

計画案

既存ストックを活用  
県南部及び県西部  
PFI的手法により整備

# 更なる 行政サービスの向上

~Go Toward  
Superior Administrative~

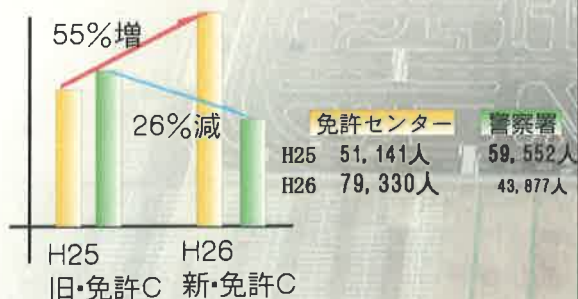
## 背景

### 「新・運転免許センター」の供用開始

- 平成26年1月、板野郡松茂町に運転免許センターを移転・供用
- 更新窓口を選択できる「任意選択制度」の拡充

## 情勢の変化

### 警察署における更新者が著しく減少



### 更新場所の検証

- 新免許センターまで～20km  
警察署更新者 - 32.2%減少
- 新免許センターまで20～40km  
警察署更新者 - 13.5%減少
- 新免許センターまで40km～  
警察署更新者 - 0.4%減少

### 更新者等へのアンケート結果

更新者等、約3,500名にアンケートを実施  
～多くの県民が、  
より近い場所で「即日交付」を希望～

県民の皆様の多くが「更新運転免許証『即日交付』」を要望している声を踏まえ、県西部と県南部の2箇所に、「運転免許サブセンター」の設置を検討しています。

### 県西部・県南部に「サブセンター」の設置を検討



### 県民のニーズを踏まえた対応

#### Concept

- 県西部・県南部に「サブセンター」の設置を検討
  - 更新者数や道路事情等を踏まえ 県西部と県南部での設置を検討
  - 運転免許証の即日交付を中心としたサービスの拡充
- 「既存ストック」の有効活用
  - 警察施設や自治体の不要遊休財産を活用
  - 財政的負担を抑制し、高いサービスを提供

### 免許関係委託業務等の見直し

#### Concept

- 運転免許更新関係の委託業務等を見直し
  - 更なる行政サービスの向上に繋げるための委託業務等の見直し

# Road Map 工程

~Charter POLICY Beyond' 10~

## これまでの取組

### 警察署の統合 (H26. 4)



### 新運転免許センター 供用開始 (H26. 1)

### 徳島東警察署 移転候補地の決定 (H27. 6)

## 更なる課題

- 治安の維持・向上に向けた対応  
~新たな情勢への対応~
- 人口減少・地域情勢の変化に対応する警察活動  
~持続可能な地域警察活動等~
- 「徳島県国土強靱化地域計画」への適切な対応  
~老朽施設に対する対応~ etc

## 県民を守る「力強い警察」の確立

Concept

中長期的な視点に立ち、  
更なる治安対策や  
行政サービスの向上  
に向けた部内検討を進め  
「大綱方針」  
を策定します

## 組織体制等の見直しに向けた県警察のEngine

### 警察署再編整備検討PT

- 小規模警察署等の課題の整理
- 管轄区域等の見直し
- 女性の登用拡大に向けた必要機能の検討




### 運転免許行政改善PT

- アンケート等による県民ニーズの把握
- サブセンター運用に向けた検討
- 他県運用状況の調査研究

### 徳島東警察署整備検討PT

- 新庁舎に求められる機能の整理
- 新庁舎整備による周辺警察署及び交番、駐在所等の在り方の検討

未来の徳島県警察を創造するPT  
女性職員WG

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度
 <p>警察署の更なる再編整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 徳島東警察署庁舎整備事業 アドバイザー業務 整備着手</li> <li>○ 警察署の統合及び管轄区域の見直し 小規模警察署等の課題の整理 新たな組織体制の構築</li> </ul>										災害対処能力の向上と隣接警察署との機能等の在り方を見直し
 <p>交番・駐在所等の施設整備の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 民間資金活用による駐在所整備事業 PFI導入可能性調査</li> <li>○ 「テナント」、「派遣型」など新たな地域警察活動の在り方 整備可能箇所の抽出 自治体や民間施設などへの入居を促進</li> </ul>										老朽施設の新たな整備手法(民間活力の導入とコスト削減を目指す) 持続可能な「地域安全センター」の在り方を検討
 <p>更なる行政サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運転免許サブセンター サブセンターに求められる機能等の検討 整備場所の選定等</li> </ul>										県内複数箇所での「即日交付」を実現